

平成29年9月27日

北朝鮮による弾道ミサイル発射時の対応について

徳島市立高等学校

1 Jアラート等を通じて弾道ミサイル発射に係る緊急情報が県内に発信された場合の対応について

(1) 登校前の場合⇒ 原則自宅待機

なお、自宅待機は、「弾道ミサイルが日本の領海外の海域に落下したとの情報」や「日本上空を通過したとの情報」が発信されるまでとし、各自で情報を確認し安全が確認され次第に登校となります。

(2) 登下校中の場合⇒ 近くの建物等に避難

(3) 在校中の場合⇒ 学校待機（避難行動）

2 臨時休業等について

学校が臨時休業となる場合は、市高のホームページでお知らせします。

《参考》

Jアラート等を活用した緊急情報が発信された場合の行動例

- 【屋外にいる場合】・・・できる限り頑丈な建物の中や地下街などに避難する。
- 【建物がない場合】・・・物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 【屋内にいる場合】・・・できるだけ窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

ミサイルが着弾した場合の行動例

- 【屋外にいる場合】・・・口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内または風上に避難する。
- 【屋内にいる場合】・・・換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

※弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

※万一のことを考えて不審物等には近寄らないこと。